

5 月及び 1－5 月期の主要経済指標

田中 修

(1) 物価

①消費者物価

5 月の消費者物価は前年同月比 2.0%上昇し、上昇率は 4 月より 0.3 ポイント鈍化した¹。都市は 2.0%、農村は 2.1%の上昇である。食品価格は 5.9%上昇し（4 月は 7.4%）、非食品価格も 1.1%上昇（4 月は 1.1%）している。衣類は 1.5%上昇、居住価格は 1.6%上昇した²。

（参考）（2015 年 1.4%）10 月 1.3%→11 月 1.5%→12 月 1.6%→1 月 1.8%→2 月 2.3%→3 月 2.3%→4 月 2.3%→5 月 2.0%

1－5 月期は、前年同期で 2.1%上昇した。

前月比では、4 月より 0.5%下落（4 月は－0.2%）した。食品価格は 2.7%下落（4 月は－1.4%）した。食品・タバコ・酒価格は 1.8%下落し、物価への影響は約－0.54 ポイントであった。うち生鮮野菜は 21.5%下落（4 月は－12.5%）し、物価への影響は約－0.64 ポイント、果物は 1.3%下落し、物価への影響は約－0.02 ポイントであった。畜肉類は 1.6%上昇し、物価への影響は約 0.08 ポイント（豚肉価格は 2.3%上昇、物価への影響は約 0.07 ポイント）であった。水産品価格は 0.2%上昇し、食糧価格は 0.1%上昇であった。卵価格は 0.1%下落した。非食品価格は 0.1%上昇（4 月は－0.1%）、衣類は 0.1%上昇（4 月は 0.1%）、居住価格は 0.1%上昇（4 月は 0.2%）であった。

食品・エネルギーを除いた消費者物価（コア消費者物価）は、前年同月比 1.6%上昇（4 月は 1.5%）、前月比 0.1%上昇（4 月は 0.2%）、1－5 月期は前年同期比 1.5%上昇である³。

なお、国家統計局は、5 月の前年同月上昇率 2.0%のうち食品・タバコ・酒価格は 4.7%上昇し、物価への影響は約 1.39 ポイントとなり、このうち食糧価格は 0.6%上昇、物価への影響は約 0.01 ポイント、畜肉類は 20.8%上昇、物価への影響は約 0.88 ポイント（豚肉価格は 33.6%上昇、物価への影響は約 0.77 ポイント）である。このほか生鮮野菜価格が 6.4%上昇、物価への影響は約 0.14 ポイント、果物価格が 7.6%下落、物価への影響は約－0.14 ポイント、卵価格が 0.2%下落、水産品価格は 4.9%上昇、物価への影響は約 0.09 ポイントであった。

なお、国家統計局都市司の余秋梅高級統計師は、5 月の消費者物価が前期比で 0.5%下落した理由として、1）年初は寒気が大部分の地域に襲来していたが、季節の野菜が出荷さ

¹ 直近のピークは 2011 年 7 月の 6.5%である。

² 国家統計局によれば、2011 年のウェイト付け改定で、居住価格のウェイトは 20%前後になったとしている。

³ コア消費者物価は 2013 年から公表が開始された。

れ市場供給が徐々に増加するにつれ、生鮮野菜価格が正常化した点を挙げている。他方で、豚肉価格は引き続き上昇し、国内石油製品価格も 2 度引き上げられた。また、前年同月比で 2.0% 上昇した理由として、1) 豚肉価格が引き続き高い、2) 生鮮野菜価格が上昇した、3) 看護料・臨床診断費・家事サービス・就学前教育価格が上昇した、としている。

②工業生産者出荷価格

5 月の工業生産者出荷価格は前年同月比 2.8% 下落し、4 月より下落率が 0.6 ポイント縮小した⁴。前月比では 4 月より 0.5% 上昇（4 月は 0.7%）した。1－5 月期は、前年同期比 4.1% 下落した。

（参考）（2015 年－5.2%）10 月－5.9%→11 月－5.9%→12 月－5.9%→1 月－5.3%→2 月－4.9%→3 月－4.3%→4 月－3.4%→5 月－2.8%

5 月の工業生産者購入価格は、前年同期比 3.8% 下落（4 月は－4.4%）した。前月比では 4 月より 0.6% 上昇（4 月は 0.6%）した。1－5 月期は、前年同期比 5.1% 下落した。

なお、国家統計局都市司の余秋梅高級統計師は、工業生産者出荷価格の前月比上昇幅が 0.2 ポイント縮小したが、その特徴は、1) 鉄金属精錬・圧延加工価格、石油・天然ガス採掘価格の上昇幅が縮小し、2) 石油加工業価格の上昇幅が拡大し、3) 石炭採掘業価格が下落から上昇に転じたとする。また、前年同月比の下落幅は 0.6 ポイント縮小となったが、石油・天然ガス採掘、石油加工、石炭採掘、非鉄金属精錬・圧延加工、化学原料・化学製品製造業価格の下落幅はかなり大きく、全体の下落の 60% 前後を占めているとしている。

③住宅価格

5 月の全国 70 大中都市の新築分譲住宅販売価格は前月比 4 都市が低下（4 月は 5）し、6 都市が同水準（4 月は 0）であった。上昇は 60 であり（4 月は 65）、最下落は牡丹江－0.5%（4 月は錦州－0.5%）、最上昇はアモイ 5.5%（4 月は合肥 5.8%）となっている。

前年同月比では、価格が下落したのは 18 都市（4 月は 23）であった。同水準は 2（4 月は 1）、上昇は 50（4 月は 46）である。最下落は錦州－3.2%（4 月は錦州－3.2%）、最上昇は深圳 54.0%（4 月は深圳 63.4%）となっている。

国家統計局都市司の劉建偉高級統計師は、「5 月の中古住宅価格が前月比で上昇した都市は 49 で、4 月より 2 減少した。上昇幅が縮小した都市は新築が 36 で 4 月より 15 増、中古が 25 で 4 月より 5 増であった。上昇幅が 1% 以上の都市は新築が 15 で 4 月より 7 減、中古が 13 で 4 月より 2 減であった。住宅価格は総体として上昇の勢いが鈍化しており、一・二・三線都市の前月比上昇幅は、いずれも 4 月よりある程度縮小した。新築分譲住宅価格の総合平均上昇率は 4 月より 0.3 ポイント縮小し、中古住宅価格は 0.4 ポイント縮小した。そのうち、一線都市の前月比平均上昇率は新築が 0.8 ポイント縮小し、中古が 0.7 ポイント縮小した。二・三線都市の平均上昇率は新築が 0.2 ポイント、中古が 0.1 ポイント縮小した。

5 月の中古住宅価格が前年同期比で上昇した都市は 50 と 4 月より 3 増えた。住宅価格は前年同期比で引き続き上昇しているが、都市間の上昇の勢いには新たな変化が現れた。一

⁴ 直近のピークは 2011 年 7 月の 7.5% である。

線都市新築分譲住宅価格と中古住宅価格の前年同期比平均上昇率は4月より縮小を開始し、二・三線都市の平均上昇率は引き続き拡大している」と指摘している。

(2) 工業

5月の工業生産は前年同期比実質6.0%増となった。前月比では、5月は0.45%増となった⁵。主要製品別では、発電量0.0%（4月は-1.7%）、鋼材2.1%増（4月は0.5%）、セメント2.9%増（4月は2.8%）、自動車4.1%増（うち乗用車-2.6%、SUV車26.1%増、新エネルギー車92.9%増）となっている。4月の自動車4.3%増（うち乗用車-3.2%）に比べ乗用車の減少幅が縮小した。SUV車・新エネルギー車は好調である。地域別では、東部6.3%増、中部7.1%増、西部6.7%増、東北0.2%増である。東北はマイナスからプラスに転じた。

（参考）（2015年6.1%）10月5.6%→11月6.2%→12月5.9%→1-2月5.4%→3月6.8%→4月6.0%→5月6.0%

1-5月期の工業生産は前年同期比実質5.9%増となった。主要製品別では、発電量0.9%増、鋼材1.0%増、セメント3.7%増、自動車5.6%（うち乗用車-6.7%、SUV車42.7%増、新エネルギー車88.8%増）となっている。

1-5月期の一定規模以上の工業企業利潤総額は2兆3816.4億元、前年同期比6.4%増（1-4月期同6.5%増）であった。5月は5372.2億元、同3.7%増である。

1-5月期の一定規模以上の工業企業の本業営業収入100元当たりのコストは85.73元（1-4月期85.66元）である。5月末の資産負債率は56.8%（4月末56.8%）であった。

(3) 消費

5月の社会消費品小売総額は2兆6611億元、前年同期比10.0%増（実質9.7%増）である。前月比では、5月は0.76%増である⁶。うち穀類・食用油・食品11.7%増、アパレル・靴・帽子類5.9%増、建築・内装16.8%増、家具15.1%増、自動車8.6%増、家電・音響機器類0.7%増となっている。自動車の伸びは4月の5.1%増から加速した。

（参考）（2015年10.7%）10月11.0%→11月11.2%→12月11.1%→1-2月10.2%→3月10.5%→4月10.1%→5月10.0%

1-5月期の社会消費品小売総額は12兆9281億元、前年同期比10.2%増である。都市は10.1%増、郷村は10.9%増である。一定額以上の企業（単位）消費品小売額は5兆8010億元、同7.4%増であり、うち穀類・食用油・食品12.4%増、アパレル・靴・帽子類7.0%増、建築・内装16.0%増、家具16.1%増、自動車7.3%増、家電・音響機器類6.1%増となっている。一定額以上のレストランの収入は6.7%増であった。全国インターネット商品・サービス小売額は1兆8089億元で、前年同期比27.7%増となった。

⁵ 10月は0.41%増、11月は0.58%増、12月は0.46%増、1月は0.45%増、2月は0.40%増、3月は0.64%増、4月は0.43%増である。

⁶ 10月は0.80%増、11月は0.90%増、12月は0.76%増、1月は0.80%増、2月は0.54%増、3月は0.89%増、4月は0.79%増である。

(4) 投資

①都市固定資産投資

1－5月期の都市固定資産投資は18兆7671億円で、前年同期比9.6%増であった。前月比では5月は0.49%増である⁷。中央プロジェクトは7833億元、10.4%増であり、地方プロジェクトは17兆9838億元、9.6%増であった。地域別では、東部10.9%増、中部13%増、西部12.6%増、東北－30%となっている。

インフラ投資（電力以外）は3兆4992億元、同20%増（1－4月期は19%）である。うち、鉄道運輸は12.2%増（1－4月期は3.9%）、道路輸送は10.5%増（1－4月期は10.4%）、水利23.5%増（1－4月期は23.7%）、公共施設29.4%増（1－4月期は28.3%）であった。

（参考）（2015年10%）1－10月期10.2%→1－11月期10.2%→2015年10%→1－2月期10.2%→1－3月期10.7%→1－4月期10.5%→1－5月期9.6%

1－5月期の新規着工総投資計画額は17兆8192億元であり⁸、前年同期比32.2%増（1－4月期は38%）である。都市プロジェクト資金の調達額は21兆2521億元で、前年同期比7.9%増（1－4月期は8.1%）、うち、国家予算資金が21.4%増、国内貸出が13.7%増、自己資金が1%増、外資が－18.5%、その他資金が37.8%増となっている。

②不動産開発投資

1－5月期の不動産開発投資は3兆4564億元で前年同期比7.0%増である。うち住宅は2兆3118億元、6.8%増で、不動産開発投資に占める比重は66.9%である。地域別では、東部6.0%増、中部11.6%増、西部5.8%増となっている。

（参考）（2015年1.0%）1－10月期2.0%→1－11月期1.3%→2015年1.0%→1－2月期3.0%→1－3月期6.2%→1－4月期7.2%→1－5月期7.0%

1－5月期の分譲建物販売面積は4億7954万㎡で、前年同期比33.2%増（1－4月期は36.5%）であった。うち、分譲住宅販売面積は34.2%増（1－4月期は38.8%）である。地域別では、東部40.4%増、中部33.2%増、西部20.3%増である。

1－5月期の分譲建物販売額は3兆6775億元、前年同期比50.7%増（1－4月期は55.9%）であった。うち、分譲住宅販売額は53.4%増（1－4月期は61.4%）である。地域別では、東部62.9%増、中部43.8%増、西部20.4%増である。

5月末の分譲建物在庫面積は7億2169万㎡、前月比521万㎡減で、うち分譲住宅在庫面積は721万㎡減であった。

1－5月期のディベロッパーの資金源は5兆3681億元であり、前年同期比16.8%増（1－4月期は16.8%）であった。うち、国内貸出が8945億元、2.3%増、外資が42億元、－72.1%、自己資金が1兆8643億元、1.4%増、その他資金2兆6051億元、39.4%増（うち、

⁷ 10月は0.98%増、11月は0.85%増、12月は0.71%増、1月は0.63%増、2月は0.72%増、3月は0.62%増、4月は0.53%増である。

⁸ 2011年から計画総投資額のベースは、50万元以上のプロジェクトから500万元以上のプロジェクトに引き上げられた。

手付金・前受金 1 兆 4840 億円、35.2%増、個人住宅ローン 8838 億円、58.5%増) である。

③民間固定資産投資

1－5 月期の全国民間固定資産投資は 11 兆 6384 億円であり、前年同期比 3.9%増である⁹。民間固定資産投資は、都市固定資産投資の 62.0%を占める。地域別では、東部 8.0%増、中部 5.7%増、西部 2.0%増、東北－29.3%である。

(参考) (2015 年 10.1%) 1－10 月期 10.2%→1－11 月期 10.2%→2015 年 10.1%→1－2 月期 6.9%→1－3 月期 5.7%→1－4 月期 5.2%→1－5 月期 3.9%

(5) 対外経済

①輸出入

5 月の輸出は 1810.64 億ドル、前年同期比－4.1%、輸入は 1310.84 億ドル、同－0.4%となった¹⁰。貿易黒字は 499.80 億ドルであった。

(参考) 輸出 : (2015 年－2.8%) 10 月－6.9%→11 月－6.8%→12 月－1.4%→1 月－11.2%→2 月－25.4% (1－2 月－17.8%) →3 月 11.5%→4 月－1.8%→5 月－4.1%

輸入 : (2015 年－14.1%) 10 月－18.8%→11 月－8.7%→12 月－7.6%→1 月－18.8%→2 月－13.8% (1－2 月－16.7%) →3 月－7.6%→4 月－10.9%→5 月－0.4%

1－5 月期の輸出は 8138.12 億ドル、前年同期比－7.3%、輸入は 5963.14 億ドル、同－10.3%となった。貿易黒字は 2174.98 億ドルであった。

1－5 月期の輸出入総額が 1 兆 4101.27 億ドル、前年同期比－8.6%であったのに対し、対 EU－3.6%、対米－10.5%、対日－5.9%¹¹ (1－4 月期は－7.5%)、対アセアン－7.1%である。

1－5 月期の労働集約型製品のうち、アパレル類前年比－3.6%、紡績－0.5%、靴－8.7%、家具－9.9%、プラスチック製品 0.9%増、靴－6.1%、玩具 11.0%増である。電器・機械は同－7.9%である。

②外資利用

5 月の外資利用実行額は 88.9 億ドルであり、前年同月比－1%であった。

1－5 月期の外資利用実行額は 541.9 億ドルであり、前年同期比 3.8%増であった。

(参考) (2015 年 6.4%増) 10 月 4.2%→11 月 1.9%→12 月－5.8%→1 月 3.2%→2 月 1.8% (1－4 月 2.7%) →3 月 7.8%→4 月 6%→5 月－1%

1－5 月期、製造業は 155.2 億ドル、前年同期比－3.2%、全体の 28.8%を占める。サービス業は 382.2 億ドル、同 7%増、全体の 70.4%を占める。

1－5 月期、国別では、EU41.2 億ドル、同 27.4%増、日本 14.7 億ドル (1－4 月期は 13.6

⁹ この統計は 2012 年から公表が開始された。

¹⁰ 前月比では、輸出 5.6%増、輸入 3.1%増である。5 月の季節調整後前年同期比は、輸出－6.2%、輸入－4.7%、前月比は輸出 2.2%増、輸入－1.4%である。

¹¹ 輸出は 512.6 億ドル、－6.6%、輸入は 542.8 億ドル、－5.1%である。5 月の輸出は 104.0 億ドル、－5.6% (4 月は－11.8%)、輸入は 113.2 億ドル、4.0%増 (4 月は－6.7%) である。

億ドル)、アセアン 29.8 億ドル、同 13.3%増、米国 23.2 億ドル、同 140.2%増である。

1-5 月期、地域別では、東部 469.1 億ドル、同 4.7%増、中部 31.8 億ドル、同 -25.8%、西部 41 億ドル、同 31.2%増である。

③外貨準備

5 月末、外貨準備は 3 兆 1917 億ドルであった。4 月末に比べ 279 億ドルの減少（4 月は 71 億ドル増）である。

④米国債保有

4 月の米国債保有高は、前月比 18 億ドル減の 1 兆 2428 億ドルであった。

（6）金融

5 月末の M2 の残高は 146.17 兆元、伸びは前年同期比 11.8%増と、4 月末より 1.0 ポイント減速し、前年同期より 1.0 ポイント加速した。M1 は 23.7%増で、4 月末より 0.8 ポイント加速し、前年同期より 19.0 ポイント加速した。5 月期の現金純回収は 1622 億元であった。

人民元貸出残高は 100.10 兆元で前年同期比 14.4%増であり、伸び率は 4 月末と同水準であり、前年同期より 0.4 ポイント加速した。5 月の人民元貸出増は 9855 億元（4 月は 5556 億元）で、前年同期より伸びが 847 億元増加している。うち住宅ローンは 5759 億元増、企業等への中長期貸出は 1825 億元増であった。

人民元預金残高は 143.78 兆元で、前年同期比 11.5%増であった。5 月の人民元預金は 1.83 兆元増（4 月は 8323 億元増）で、前年同期より伸びが 1.40 兆元減少している。うち個人預金は 543 億元増、企業預金は 5415 億元増であった。

（参考）M2：10 月 13.5%→11 月 13.7%→12 月 13.3%→1 月 14.0%→2 月 13.3%→3 月 13.4%→4 月 12.8%→5 月 11.8%

5 月末の社会資金調達規模残高は 146.33 兆元であり、前年同期比 12.6%増となった。うち、実体経済への人民元貸出残高¹²は 98.92 兆元、14.0%増、委託貸付残高は 11.88 兆元、22.1%増、信託貸付残高は 5.65 兆元、6.1%増、企業債券による純資金調達残高は 16.26 兆元、29.9%増、非金融企業の株式による資金調達残高は 5.01 兆元、23.6%増である。

構成比では、実体経済への人民元貸出残高は 67.6%（前年同期比 0.8 ポイント増）、委託貸付残高は 8.1%（同 0.6 ポイント増）、信託貸付残高は 3.9%（同 0.2 ポイント減）、企業債券による純資金調達残高は 11.1%（同 1.5 ポイント増）、非金融企業の株式による資金調達残高は 3.4%（同 0.3 ポイント増）である。

5 月の社会資金調達規模（フロー）は 6599 億元であり、前年同期比 5798 億元減となった。うち、実体経済への人民元貸出は 9374 億元増（伸びは前年同期比 864 億元増）、委託貸付は 1566 億元増（同 1242 億元増）、信託貸付は 121 億元増（同 316 億元増）、企業債券による純資金調達は 397 億元減（同 2107 億元減）、非金融企業の株式による資金調達は 1073

¹² 一定期間内に実体経済（非金融企業と世帯）が金融システムから得た人民元貸出であり、銀行からノンバンクへの資金移し替えは含まない。

億元（同 489 億元増）である。1－5 月期の社会資金調達規模は 8.10 兆元であり、前年同期比 1.15 兆元増となった。

（7）財政

5 月の全国財政収入は 1 兆 5461 億元で、前年同期比 7.3%に達した¹³。税収は 1 兆 3252 億元、同 8.3%増、税外収入は 2209 億元同 1.8%増である。

1－5 月期の全国財政収入は 6 兆 9880 億元で、前年同期比 8.3%に達した。中央財政収入は 2 兆 9678 億元で、同 0.6%増、地方レベルの収入は 4 兆 202 億元、同 14.9%増である。

（参考）財政収入：（2015 年 8.4%）10 月 8.7%→11 月 11.4%→12 月 6.3%→3 月 7.1%
→4 月 14.4%→5 月 7.3%

5 月の全国財政支出は 1 兆 5461 億元で、前年同期比 17.6%増に達した。

1－5 月期の全国財政支出は 6 兆 6528 億元、前年同期比 13.6%増であった¹⁴。中央レベルの支出は 1 兆 220 億元、同 3.8%増、地方財政支出は 5 兆 6308 億元、同 15.6%増である。

なお、1－5 月期の地方政府基金収入は 1 兆 3311 億元、同 6.9%増であり、うち国有地土地使用权譲渡収入は 1 兆 1694 億元、前年同期比 8.3%増（1－4 月期は 5.8%増、5 月は 21.4%増）であった。

（8）社会電力使用量

5 月は前年同月比 2.1%増であった。うち、第 1 次産業は 10.9%増、第 2 次産業は 0.9%増、第 3 次産業は 7.4%増、都市・農村住民生活用は 2.8%増であった。

1－5 月期は前年同期比 2.7%増である。うち、第 1 次産業は 9.6%増、第 2 次産業は 0.4%増、第 3 次産業は 9.6%増、都市・農村住民生活用は 8.2%増であった。

（参考）（2015 年 0.5%）10 月－0.2%→11 月 0.6%→2 月 4.0%（1－2 月 2.0%）→3 月 5.6%
→4 月 1.9%→5 月 2.1%

（9）雇用

1－5 月期の新規就業者増は 577 万人で（年間目標 1000 万人以上）¹⁵であった。

（6 月 27 日記）

¹³ 主な収入の内訳は、国内増値税 2560 億元、前年同期比 2.8%増、消費税 834 億元、0.3%増、営業税 2127 億元、76%増、企業所得税 4215 億元、－10.2%（うち不動産企業所得税－9.5%）、個人所得税 837 億元、28.2%増、輸入貨物増値税・消費税 1044 億元、6.3%増、関税 216 億元、5.8%増である。輸出に係る増値税・消費税の還付は 935 億元であり、0.8%増である。都市維持建設税は 348 億元、19.1%増、印紙税は 173 億元、－47.7%、うち証券取引印紙税は 103 億元、－61.7%、車両購入税は 212 億元、－6.8%、資源税は 69 億元、－25.9%である。地方税では、契約税 333 億元、前年同期比 11.4%増、土地増値税 379 億元、19.5%増、耕地占用税 100 億元、－37.7%、都市土地使用税 124 億元、－13.9%、不動産税 206 億元、11.7%増であった。

¹⁴ 支出で伸びが大きいのは、教育支出 9925 億円、前年同期比 17.6%増、医療衛生・計画出産 5407 億元、21.2%増、社会保障・雇用 9812 億元、14.8%増、都市・農村コミュニティ 6520 億元、26.5%増、資源探索・情報等 1962 億元、22.3%増、住宅保障 1850 億元、29%増、債務利払い 1731 億元、19.4%増である。

¹⁵ 2015 年は 1312 万人である。